



香綾会

福岡県立香椎高等学校香綾会関西支部会報

No. 6
1999. 9. 30
編集責任 岡本徳之
〒543-0031 大阪市天王寺区石ヶ辻町13番7号
TEL 06(6772)4464
FAX 06(6772)7864



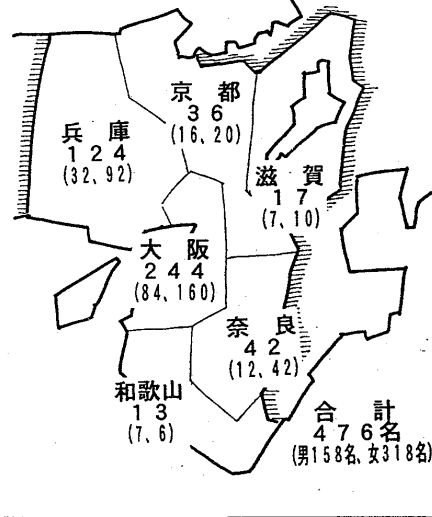
応援(体育祭)

関西支部会員数 ただいま476名

関西支部は近畿2府4県(滋賀、京都、大阪兵庫、奈良、和歌山)在住の香椎高校卒業生現在476名で構成されています。母校⇒本部⇒支部⇒会員相互間の情報受発信拠点となるべく、年1回の支部総会、会報発行をはじめとした活動を行っております。ご協力ください。

関西支部会員分布

数字は会員数。カッコ内は左側男子、右側女子。



お願い

◎年会費について

年会費は2,000円です。同封の振込み用紙にてご納付下さい。年会費は年1回の総会や会報の発行等会員相互間の親睦、情報連絡費用にあてられています。

なお、すでに本年度年会費を納付済みの方はあしからずご了承下さい。

親しみこめ語らう 平成11年度 関西支部の集い開く

6月27日(日) 大阪心斎橋大成閣で

本部から阿部良毅会長、母校から大田邦男校長、高木大介先生を迎え、総勢36名が集い、本年度の関西支部総会が盛大に開催されました。

阿部会長から新たに東海中部支部、北海道支部が誕生し、ますます輪を拡げる香綾会の現況が、また大田校長からは進学部に活躍する後輩たちの近況報告があり、出席者はあらためて母校に思いを寄せました。

藤田支部長は「香綾会は卒業生の縦軸、横軸の接点です。木を見て森を見ないという現代社会の風潮の中で、会を通じ相互の親睦をより深めていきたい。世話を焼いてもつ幹事一同はその架け橋として機能していきたい」と挨拶されました。

盛り上がる会の席上、今回初参加の篠原長世さん(昭和12年卒・女13回生)は、「参加してよかった。時代は変わっても年令のことを忘れて溶けこめる。やはり同窓会っていいものですね。次回もぜひ出席します」と語っておられました。

幹事雑感

一人でも多く参加を

幹事 田鍋久光(高校5回生)
当日は梅雨の影響で朝から大雨注意報発令の悪天候でしたが、ほぼ予定通りの36名の参加のもと定刻に開会することができました。

支部総会の目的は会員相互間の親睦、各年次間あるいは、本部、母校との交歓の場として年1回開催されています。幹事一同は数カ月前から準備を進めます。しかし結果は満足のいく参加者数に結びつかずいつもの反省点となっています。合言葉は「総会員数の最低1割(50名)参加」です。来年以降は老若男女を問わず1人でも多くご参加いただけるよう努力いたしますので、皆さまのいっそうのご協力をお願い申し上げます。

平成11年度 支部総会出席者 (卒業年次別)

- 昭12年(女13回) 篠原長世 22(23) 国枝喜久江 23(24) 市川節世 24(25) 添田雅江 27(高4回) 阿部良毅 新西薫 高木淑江 中村妙子 中谷波津弥 28(5) 田鍋久光 29(6) 長リエ子 金山守 31(8) 安部馨奈子 本郷敏治 33(10) 井上亘 大田邦男 鮫島貞一郎 広瑠美子 藤田進也 34(11) 中村鉄兵 35(12) 浅岡康弘 岡本徳之 中村和馬 永島美恵子 福本泰江 松尾郁代 山本哲士 36(13) 三原哲 吉原康雄 37(14) 安部滋子 豊村寿人 山下圭子 38(15) 中村幸子 42(19) 西島寿則 播磨巧二 49(26) 吉松節子 54(31) 高木大介

よき伝統うけつぎ 後輩たちも頑張っています

校長 大田邦男

関西香綾会の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。日頃から母校に対するご支援誠にありがとうございます。

さて、母校では毎日静寂の中で授業が行われ、放課後は運動場や体育館、音楽室から部活動の歓声や吹奏楽部の楽器を奏でる音色がにぎやかに聞こえてまいります。

本校の最近の状況を簡単にお伝えしておきたいと思えます。

さる6月、今年度の常磐祭を行いました。企画立案から実施にいたるまですべて生徒自らの手で運営され、生徒たちの充実感だけでなく、来客の皆さんに大きな感動を与えました。

大学への進学状況につきましては、年毎に前年度実績を上回る飛躍的な向上を示しております。また部活動につきましても、平成9年度の総合体育部の「全国優勝」(フィギュアスケート個人の部)、平成10年度同部の「全国優勝」(フィギュアスケート学校対抗の部)、放送部のNHK杯全国高校選抜野球大会開会式における司会進行、男子ハンドボール部の「全国総体出場」(33年ぶり2回目、3回戦進出ベスト16)。

本年に入ってから、平成13年8月に福岡県で開催される全国高校総合文化祭のイメージソング最優秀賞獲得(CD化され全国PR活動に使用されます)など、部活動以外にも後輩諸君のめざましい活躍が地元で大いに評価されております。

また、本校にとりまして大変ありがたいことに、最近の香綾会の活動がますます活発になってきたことがあります。本部総会参加者を見ますと、平成9年度950名(シーホークホテル)、10年度1100名(グランドハイアットホテル)、11月開催予定の本年度総会(ホテルオークラ)さらに増えることが見込まれており、伝統校の自信と誇りを象徴しているように思われます。

このように香椎高校卒業生の幅広い結びつきが学校にとりまして実に大切なことであり、誠にありがたいことであります。

平成13年度には創立80周年を迎えることになっており、これを契機に母校がますます発展できますよう、会員の皆様には更なるご指導とご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、関西支部の皆様のみならずご健勝とご活躍を心から祈年申し上げます。

香綾家の一日

新西薫 (高校4年生)

天から恐怖の大王が

1999年7月 地球は

8月になる

暑い日

貯金

香綾トピックス

晴れの甲子園で 司会進行

春の選抜高校野球大会の開会式で 井上義敦君

さる3月25日、甲子園球場で開催された春の選抜高校野球大会の開会式において母校放送部の井上義敦君(当時3年生)が「司会進行」の大役を努めました。はつらつとしたアナウンスが球場に響きわたり、スタンドを埋めつくした観衆から万雷の拍手をうけました。

井上君は昨年7月、第45回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会で優勝の栄冠を獲得し、今回白羽の矢をうけたものです。



「業はやり性なはず、甲子園の舞台で司会を務めるのは、僕の夢の一つだ。今年、母校の先輩が司会進行を務め、私も先輩の背中を見ながら、今年も甲子園球場で司会進行を務めたい。春の選抜高校野球大会の開会式で、先輩の背中を見ながら、今年も甲子園球場で司会進行を務めたい。春の選抜高校野球大会の開会式で、先輩の背中を見ながら、今年も甲子園球場で司会進行を務めたい。」

「中生の時、園の野球場で、先輩の背中を見ながら、今年も甲子園球場で司会進行を務めたい。春の選抜高校野球大会の開会式で、先輩の背中を見ながら、今年も甲子園球場で司会進行を務めたい。」

井上義敦君を紹介した西日本新聞の記事

香椎高校の沿革

大正10年(1921年)女子教育の振興をめざし粕屋郡立粕屋実業女学校として開校。大正11年4月福岡県立粕屋高等女学校と改め、香椎宮に近い現在地に新校舎を設置。同年7月福岡県立香椎高等女学校と改称。一方、昭和16年(1941年)博多の太田清蔵氏が現福岡女子大の地に財団法人香椎中学を設立。昭和18年南部藩江戸屋敷の黒門を移築して正門とし、東に赤門の東京大学、西に黒門の香椎中学ありとの気概を生徒に抱かせた。昭和23年両校が統合、校名を福岡県立香椎高等学校とする。昭和30年に、火野草平作詞、古関裕而作曲による校歌がで、平成8年(1996年)創立75周年を機に黒門を復元し、2年後の平成13年(2001年)には創立80周年を迎える。卒業生は2万7千有余名に活躍している。

最優秀賞を受賞

『全国高校総合文化祭』イメージソングで 大政由美子さん

2001年に福岡県内で開かれる第25回全国高校文化祭のイメージソングに、本校3年生の大政由美子さんが作詞作曲した「あるいてみよう」が選ばれました。この曲は多数の公募の中から最優秀賞を受賞しました。受賞曲はCD化され、全国的なPR活動に活用されます。またマスコットキャラクター部門では馬場美由姫さん(3年生)が佳作を受賞しました。

平成10年度 年会費 寄付金 納入者一覽 (順不同、敬称略)

年会費

- <女5>筑紫百子 <女19>早川百合子 内田初子 小泉エイ子 渡辺喜代美
- <女22>角田美沙子 氏家ヒサ子 棚町昭子 <女23>石松早苗 平泉和枝 葛野洋子 国枝喜久江 <女24>市川節世 三木美智子 <中1>御法川秀夫 岡本賢一 <高3>能見美智子 川北テル子 <高4>伊東初音 村田富子 仲谷波

- 津弥 中村妙子 添田雅江 高木淑江 渡辺良子 南美恵子 新西薫 <高5>田鍋久光 山本峰夫 小林晴江 深水玲子 仲野雄哉 内藤涼子 鎌田武 <高6>馬場正尋 金山守 栗山千栄子 山名順子 長リエ子 久保田隼人 吉田敦子 結城勉 下山礼子 <高7>満生享子 八尋綾子 大谷朗子 桑原弘子 <高8>安部馨奈子 西形房子 島津久忠 本郷敏治 <高9>因澄子 張本泰治 床並英子 佐藤倅子 諸岡義和 石川博 石川けい子 <高10>阿部順子 大神節子 鮫島貞一郎 広塚美子 井上亘 青木清明 沖総昭 永江道子 藤田進也 <高11>藤野紀代子 <高12>富多律子 清村智子 福本泰江 岡本徳之 浅岡康弘 吉田久代 永島美恵子 <高13>佐藤宏 吉原康雄 古賀智津子 檜崎万里子 <高14>豊村寿人 福原俊子 <高15>柴田豪之 今村桂子 山内恭子 渡辺美佐子 原田晋二 田島勝 <高16>情家久美子 中村幸子 <高17>喜多村敬志 見潮洋子 <高18>倉智裕之 <高19>長崎真由美 中森一幸 播磨功二 牧野謙次 <高20>松尾光子 <高22>前田泰子 <高26>吉松節子 <高27>三輪輝代 <高30>因幡ふえみ 松尾博明

- 寄付金 9,000円=藤田進也(高10) 8,000円=新西薫(高4) 久保田隼人(高6) 5,645円=豊村寿人(高14) 5,000円=田鍋久光(高5) 岡本徳之(高12) 2,000円=井上亘(高10) 1,000円=渡辺良子(高4) 長リエ子(高6) 福本泰江(高12) 松尾光子(高20) 吉松節子(高26)

平成10年度収支報告書

平成10年4月1日~平成11年3月31日 単位:円

収入の部		支出の部	
年会費	202,000	会報	139,215
寄附金	47,645	総会	352,959
雑収入	248,000	通信費	19,592
受取利息	65,000	会議費	51,801
前期繰越金	266	次期繰越金	250,451
	251,107		
合計	814,018	合計	814,018

編集後記

一九九九年もあと数ヶ月を残すのみとなり、俄に二〇〇〇年問題が騒がしい。コンピュータが西暦二〇〇〇年を一九〇〇年と誤認し、正しく作動しなくなるために生じるトラブルのことだが、電力やガスなど生活に不可欠なエネルギーの供給に支障が出たり、銀行の預金利子がゼロになるなどの恐れがあるとすれば、他人事ではない。

ノストラダムスの大予言はともかく、世紀末は何かと宇宙空間的次元の発想がまかり通るようである。新しいものに限りなく挑戦し、そして自らを苦しめるのは人間の宿命である。何事にも終わりがあれば始めがある。変化は避けられない。

▽天然林で台風や暴風雨で大木が根こそぎ倒れることを「根返り」というが、根返りは樹木の世代交代の絶好のチャンスだという。むき出しになつた土から新芽が育つ。悠久な自然が織りなす壮大な変化であり、生物の活性化の原点である。世紀の変わり目も一種の通過点と受けとめたいと思う次第。

幸か不幸かこういう時代に遭遇できることは何かの巡り合わせであろう心して成りゆきを見守りたいものである。

(晨)